

「子供の心を育てる一声を」

「1年の折り返しの時期」

和歌山県中学校長会長
和歌山市立加太中学校長 神崎 信彦

日頃から青少年の非行防止、健全育成にご尽力頂いている多くの方々に深く感謝いたします。定年退職の年に「少年センターだより」に執筆の機会を戴き大変嬉しく感じております。過去に2回掲載させて頂いていますが、19年前、生徒指導を担当していた時期、初めて掲載させて頂いたときの記憶が鮮明に残っています。「教師生活の折り返し」という内容で、教員生活38年間のちょうど中間地点、マラソンの折り返しであり、前半戦を振り返り、後半戦を頑張りたいというものでした。私にとっては、この時の原稿が人生の大きな節目となりました。

さて、8月19日(木)午前、加太中学校の校長室でこの原稿を書いています。外は真っ暗、天候は豪雨で雷も鳴り響いています。2日前に和歌山市に発表された「大雨警報」が本日の早朝やっとな解除されたのですが、先ほど再び「大雨警報」が出されました。これほどの雨が長期間にわたり降り続く経験は今まで無かったことです。そのため、冠水や土砂崩れなどの自然災害発生の危険が迫っています。本校の位置する加太地区にも多くの危険箇所があり大変心配な状況です。

また、新型コロナウイルス感染症が信じられない勢いで拡大しています。昨日の報道では、全国で約24000人の新規感染者が報告されています。和歌山県でも64人の方が感染されたようです。報道によれば、実際感染している方はこの数字よりはるかに多いのではないかとことです。また、小中学生を含む若い方の感染が激増していることも気になるところです。

一週間後、新学期が始まりますが、通常の実施活動が実施出来るのか大変不安でなりません。この「少年センターだより」が皆様の手元に届いている10月上旬、安心して各校の様々な教育活動が無事できていることを祈るばかりです。

さて、近年、全国的に非行少年等の検挙・補導人数が大幅に減少しています。刑法犯少年の検挙数は、16年連続で減少し、現在は10年前の4分の1以下に減少しています。教育活動に携わる者として大変喜ばしい傾向であるといえます。全国で少子高齢化が進み生徒数が減少しているものの、この減少は、様々な分野の多くの方々が今まで積み重ねてきた努力の賜であると感じています。今後もこの状況が継続出来るようにするためには、気を緩めずに努力を続けることが必要であると感じています。

しかしながら、昨年度の小中高生の自殺者が、統計のある1980年以降最多の499人になったことが報道されています。厚生労働省は「新型コロナウイルス禍で学校が長期休校したことや、外出自粛により家族で過ごす時間が増えた影響で、学業や進路、家族の不和などに悩む人が増加したとみられる」と指摘しています。各校でも、命の大切さを学ぶ様々な取り組みをしているところですが、より一層充実させていかなければならないと感じます。

結びに、今年度も半年が過ぎ、1年の折り返しの時期となりました。新型コロナウイルス感染症への対応、自然災害の防止、そして生徒指導等、多くの課題と向き合いながら努力を継続したいと思っております。多くの方々のご支援のもと、今年度の後半戦に全力を尽くしたいと思っております。



インターネットの危険から子供を守るう!

自撮り画像は撮らない!送らない!

県青少年健全育成条例により、青少年に対して児童ポルノに相当する自撮り画像を要求する行為を禁止しています。

自撮り画像被害がもたらす危険性

デジタルタトゥー

ネットに出回った情報はすべてを削除することは不可能であり、将来にわたり苦しめられる。

二次被害の恐れ

画像をもとに脅迫等され、金銭の要求や性被害などの重大な事件に発展する。

フィルタリングは必ず利用しましょう!

青少年が携帯電話端末等を利用する場合は、法律に基づき、原則としてフィルタリングサービスを利用しなければなりません。

フィルタリングは保護者が子供を守る手段です。責任をもって設定することが大切です。

フィルタリングは、有害な情報が掲載されたサイトへのアクセスや、アプリの利用を制限するだけでなく、ウイルスや詐欺などの悪意の仕掛けがあるようなサイトへのアクセスも防いでくれます。

ネット依存に要注意!

インターネット依存症患者の9割が「ゲーム障害」の疑いがあります。オンラインゲームは常に更新され、ずっと続けてしまい、勉強やスポーツに比べて簡単に達成感が得られ、依存に陥りやすいとされています。

ゲーム障害の主な行動傾向

- ・朝起きられない
- ・ものを壊す
- ・昼夜逆転の生活
- ・家族に暴力をふるう
- ・学校や会社を休む

家族で決めようスマホの使いかたルール!

参考例

- ① 夜〇時以降は使用しない。ゲームとネットを合わせて、1日〇時間とします。
- ② 自分や友達の個人情報や、写真をネットに公開しません。
- ③ 自分が言われて嫌なことや、誹謗中傷の投稿をしません。
- ④ メールやSNSは、実際に会ったことのある友達だけにします。
- ⑤ ネットやSNSで知り合った人とは直接会いません。
- ⑥ ネットに公開するときは、送信前に内容をしっかり見直してから送信します。
- ⑦ 自分のIDやパスワードは他人に絶対教えません。
- ⑧ 分からない時や変だなと感じたときは、そのままにせず保護者に相談します。

少年センター各種教室実施のお願い (情報モラル・薬物乱用・非行防止 等)



少年センターでは児童・生徒や保護者(地域住人や各種団体等を含む)を対象に各種教室(情報モラル・薬物乱用・非行防止 等)を実施しています。中でもSNS関係によるトラブルや犯罪の被害者や加害者になるケースが全国的に増加しており、低年齢化が進んでいます。

各種教室を発達段階に応じて実施することで非行・トラブルを未然に防ぐための一翼をなすものと考えていますので、ぜひ各学校等で計画的な実施をお願いします。

少年センターでも各学校等と日程調整をしながら、できる限り多くの場で実施していきたいと考えています。

各種教室の依頼は和歌山市立少年センター

電話番号 073-425-2351